

起立不能牛の早期治療・・・もう～大丈夫!!

乳牛の血中カルシウム濃度 解析システムの研究発表



日時：平成27年3月4日(水) 13:30～16:00

場所：帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター

定員：40名(参加無料)

- 参加ご希望の方は、事前にお申し込みください。
- 定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

講演テーマ:

無線式携帯型心電計を利用した乳牛の血中カルシウム濃度解析システムの開発
【平成25年度 SCOPE「地域ICT振興型研究開発」採択課題】

発表者：国立大学法人帯広畜産大学 臨床獣医学研究部門 診断治療学分野

助教 伊藤 めぐみ 氏

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場

製品技術部デザイン・人間情報グループ 主査 中島 康博 氏

北海道の乳牛は毎年50万頭中4万頭が起立不能を発症し、うち4千頭が死亡しており、約60億円の大きな経済損失を被っています。このような被害を防ぐためには、発症原因の一つである低カルシウム(Ca)血症の素早い判断が求められます。

本研究では、心電図波形から血中Ca濃度を簡易非侵襲に計測する、携帯無線型の血中Ca濃度解析システムを開発しています。

今回は、本研究の概要やこれまでの成果を発表するとともに、牛舎で乳牛にシステムを取り付ける方法や実証データ等を見学していただいたうえで、意見交換会を実施します。



乳牛の起立不能 北海道では年間4万頭が発症・4千頭が死亡！

分娩性低カルシウム血症(乳熱)

分娩後、乳汁中に大量のカルシウム(Ca)が排出されるため、血液中のCaが低下し筋肉が収縮できずに起こる起立不能

→Ca剤投与が有効



分娩牛(起立不能牛)に対し低Ca血症の有無を早期に見分ける必要あり！

「ICTを活用したセンサモニタリングシステムに関する説明会&見学会」 プログラム

日時 平成27年3月4日(水)
13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

場所 帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター
(帯広市稲田町西2線11番地)

定員：40名
(参加無料)

スケジュール

13:30 開会

13:35 ICTを活用したセンサモニタリングシステムの説明
「無線式携帯型心電計を利用した乳牛の血中カルシウム濃度
解析システムの開発」

国立大学法人帯広畜産大学 臨床獣医学研究部門診断治療学分野 助教 伊藤 めぐみ 氏
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
製品技術部デザイン・人間情報グループ 主査 中島 康博 氏

14:30 見学会(牛舎へ移動)

15:10 意見交換会

16:00 閉会

総務省北海道総合通信局では「北海道地域ICT活力推進会議」が取りまとめたICTプロジェクトを地域ICT活力推進プロジェクト地域展開プログラムにより地域展開を推進します。

お申込方法

参加ご希望の方は、以下の必要事項をご記入の上、**電子メール**、または、**FAX**にてお申し込みください。

【必要事項】・件名：「センサモニタリング説明会 参加希望」

・氏名、会社・団体名、所属部署、役職、連絡先(電話番号等)、
靴のサイズ(見学会で当方が用意した長靴に履き替えが必要なため。)

●お申込先 電子メールアドレス：ict-hjgo@soumu.go.jp

●お申込先 FAX番号：011-709-2482

※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。
※聴講券の発行はいたしませんので、当日直接ご来場願います。

個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた個人情報については、受付整理及び連絡用としてのみ使用し、また、個人情報保護の規定に従って適正に管理いたします。

会場のご案内

◇JR帯広駅前バスターミナルから：十勝バス

乗り場9番から・バス番号70番「大空団地線」→「緑陽高校前」下車 徒歩15分
(8時から20時までの間 毎時28分発 58分発)(乗車時間：約30分)

◇帯広空港からは、帯広駅行きのバスに乗り、上記バスに乗り換えてください。

◇タクシー利用

帯広空港から約25分 JR帯広駅から約20分

◇自家用車等で来場される場合

「大学構内」の外來者用駐車場をご利用ください。なお、外來者であることがわかるように運転席前に名刺等を掲示してください。

<お問い合わせ先>

北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課
電話：011-709-2311(内線4704)



国立大学法人 帯広畜産大学
所在地：080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
TEL：0155-49-5216(総務課代表番号)